

# 音パット施工要領書



有限会社 幸昭

〒417-0002 静岡県富士市依田橋 770-5

☎0545-32-1121 <http://http://www.bouon-kosho.co.jp>

## ■施工に必要なもの■

### 防音下地材「音パット」



躯体と仕上げ面の縁を切り、空気層を作り振動エネルギーを軽減できる防音下地材。  
床・壁・天井の下地材としてお使いいただけます。

### 遮音材「音シート」



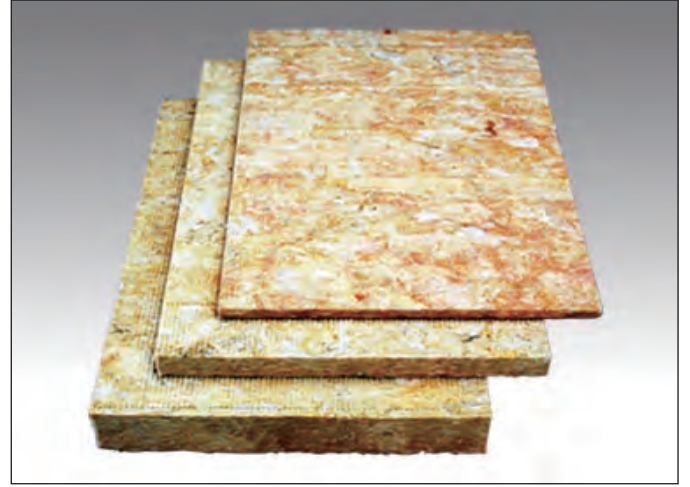
アスファルト系の建築用遮音シート。  
音パット工法と組み合わせての使用を推奨しています。  
※床には4mm以上、壁・天井には2.4mmを使用してください。

### コンパネビス・軽天ビス



下地が木質の場合は、「音パット」をコンパネビスにて固定してください。「音パット」に石膏ボードを固定する際は長さ28mm以下の軽天ビスを使用してください。

### ロックウール 80kg/ m<sup>3</sup> 40mm/25mm 厚



音パット間に敷き詰める資材になります。  
※音パット工法は「音パット」とロックウールで荷重を支える構造になりますので必ず音パットとロックウールを併用してご使用ください。

### 工具



音パットの長さを調整するには、「高速カッター」「ディスクグラインダー」「金切りバサミ」等でカットできます。※音パットの材質は軽量鋼0.8mm厚ビス止めには「インパクトドライバー」音パット切り詰め時の穴あけ作業には「ステップドリル」をご使用ください。

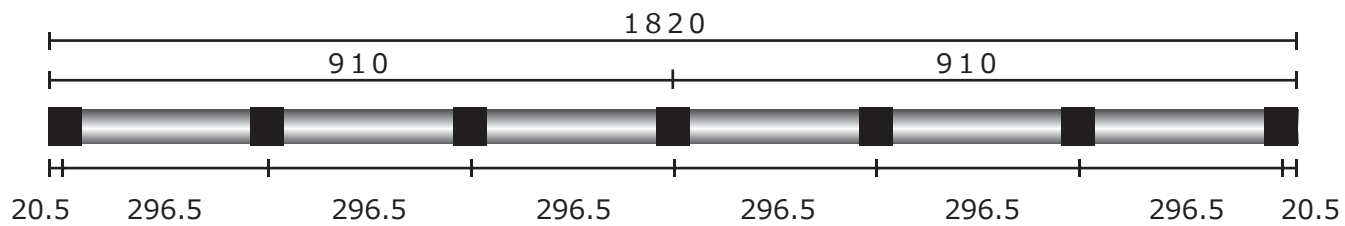
### 接着剤（コンクリート下地時のみ）



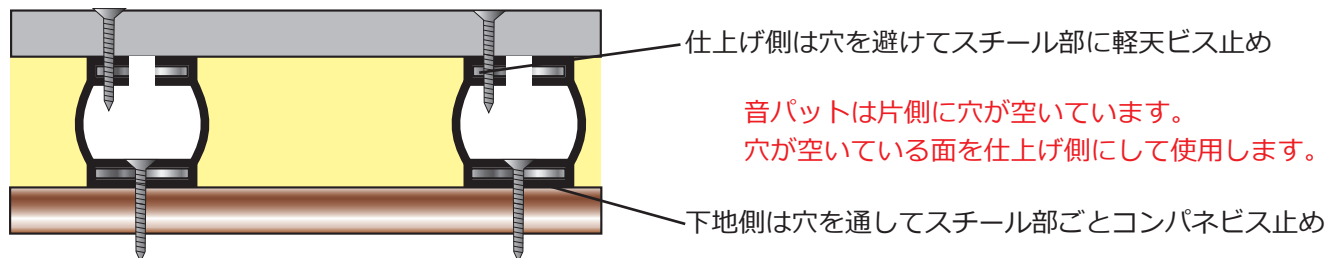
下地がコンクリートの場合は、コニシ(株)の「ボンド K120」または同等品にて「音パット」を接着してください。

## ■音パットの施工について①■

### 音パットゴムピッチ



### 音パットの施工イメージ図



### 音パットの固定方法

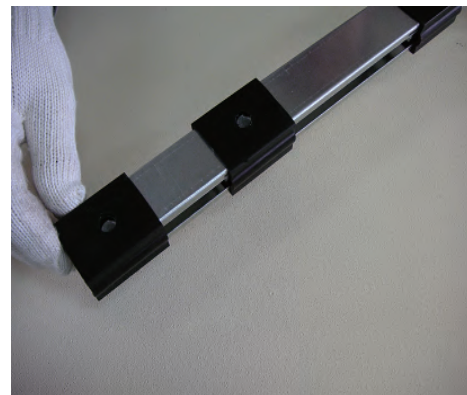
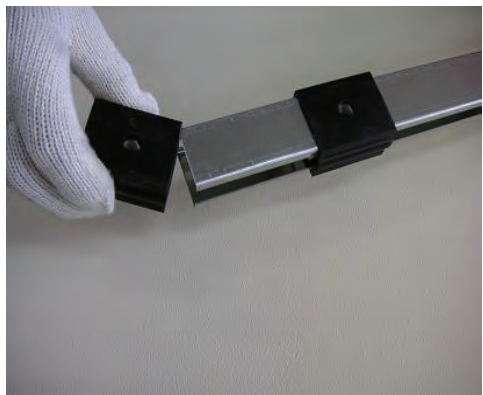


下地が木質の場合、音パットゴム部の穴からコンパネビスまたは同等品をインパクトドライバーにて固定してください。



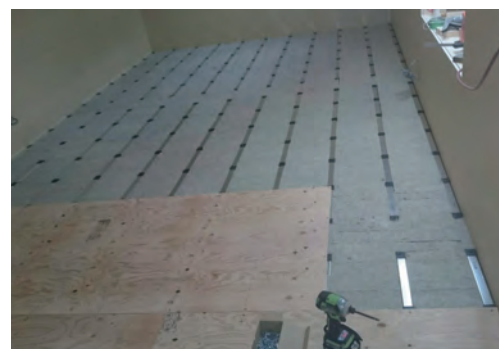
下地がコンクリートの場合、音パットゴム部・軽量材の裏側に接着剤を塗り固定してください。（床のみ）

### 音パットの切断方法



音パット切り詰め時はカット後ゴムを外し、切った端部にゴム部を差し込みます。新規ゴム部にステップドリルで穴あけしてください。

### 音パットを並べる



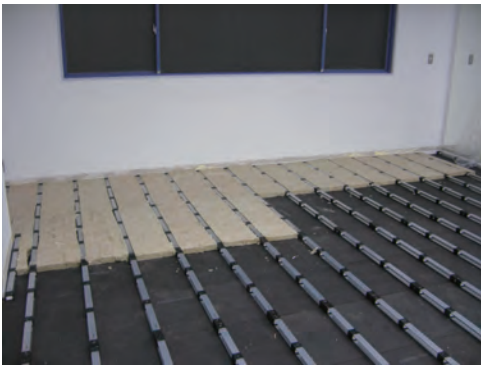
音パットを並べる際は、音パットと音パットを離して並べてください。上貼りの合板は離れた音パットをまたいで施工してください。取り合いによっては、音パット間の距離を調整してください。

## ■音パットの施工について②■

### 床



床：音パット303mmピッチで施工  
壁際に常設荷重がある場合は、壁際に木根太を入れ内側に303mmピッチで音パットを施工する  
※音パット、木根太は壁から3mm離してください。



音パット間にロックウール80k40mm厚を充填



1枚目は音パットのゴム部にビス止め  
壁と合板を2～3mm離し、12mm以上の合板を捨て貼りしてください。  
※壁と床の縁が切れていないと、振動が伝わり遮音性能が低下します。  
捨て貼り同士は、必ず2～3mm離して固定してください。  
※床鳴りの原因となります。

### 壁



壁：音パット455mmピッチで施工



音パット間にロックウール80k40mm厚を充填



石膏ボードを2重貼りしてください。  
必ず下貼りの石膏ボードとジョイント位置をずらし固定してください。

1枚目は音パットのゴム部にビス止め  
2枚目はボンドを併用してタッカー止めにて施工してください。  
重量物を固定する場合は下地を石膏ボードから合板に変更してください。

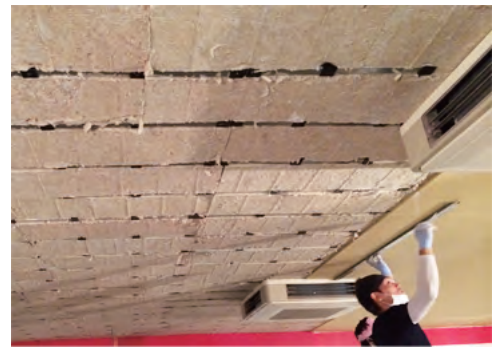
### 天井



天井：音パット303mmピッチで施工



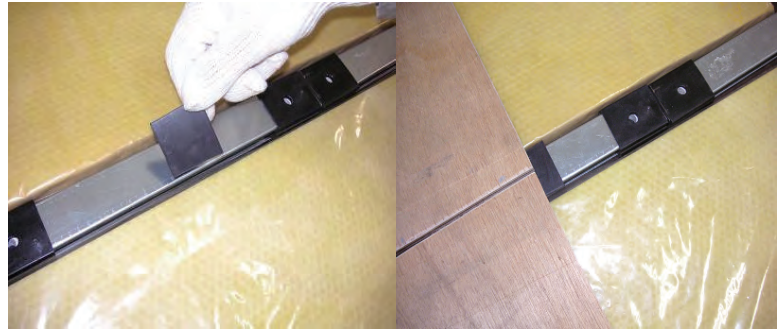
音パット間にロックウール80k40mm厚を充填  
※天井は少し大きめにカットし充填すると落下しにくいです。



石膏ボードを2重貼りしてください。  
必ず下貼りの石膏ボードとジョイント位置をずらし固定してください。

## ■音パットの施工について③■

### 合板・ボード、ジョイント部の対応



合板・石膏ボードは、基本的にゴム部にビス止めしますが、ジョイント部がスチール部になる場合、付属のゴムパッキンをカットし写真のように貼付け施工してください。

### レベル調整

基本的に音パットでの不陸調整は不可です。5mm程度までの不陸調整は右記の様に对应してください。

それ以上は事前にセルフレベルリングにて対応をお願いします。



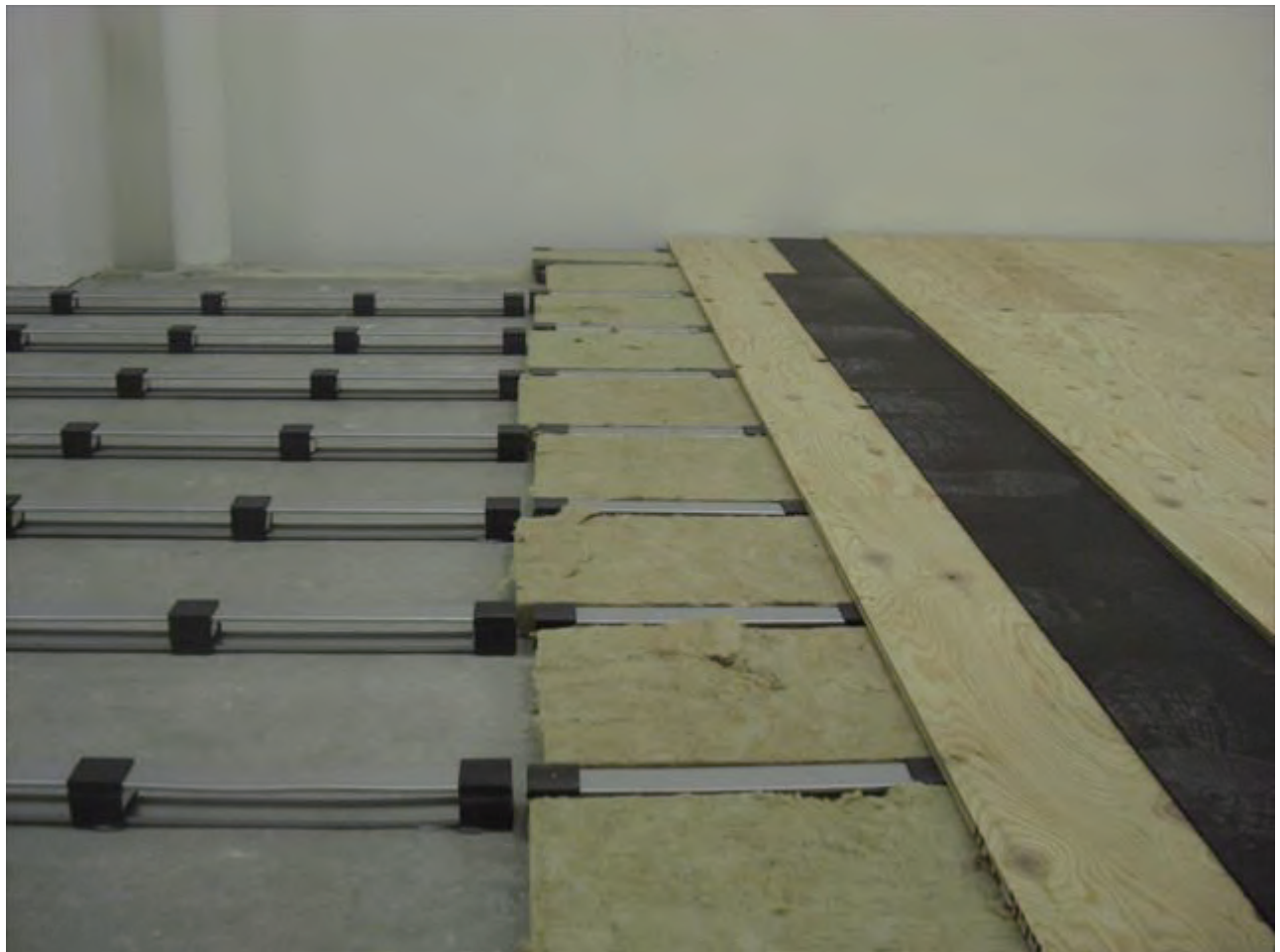
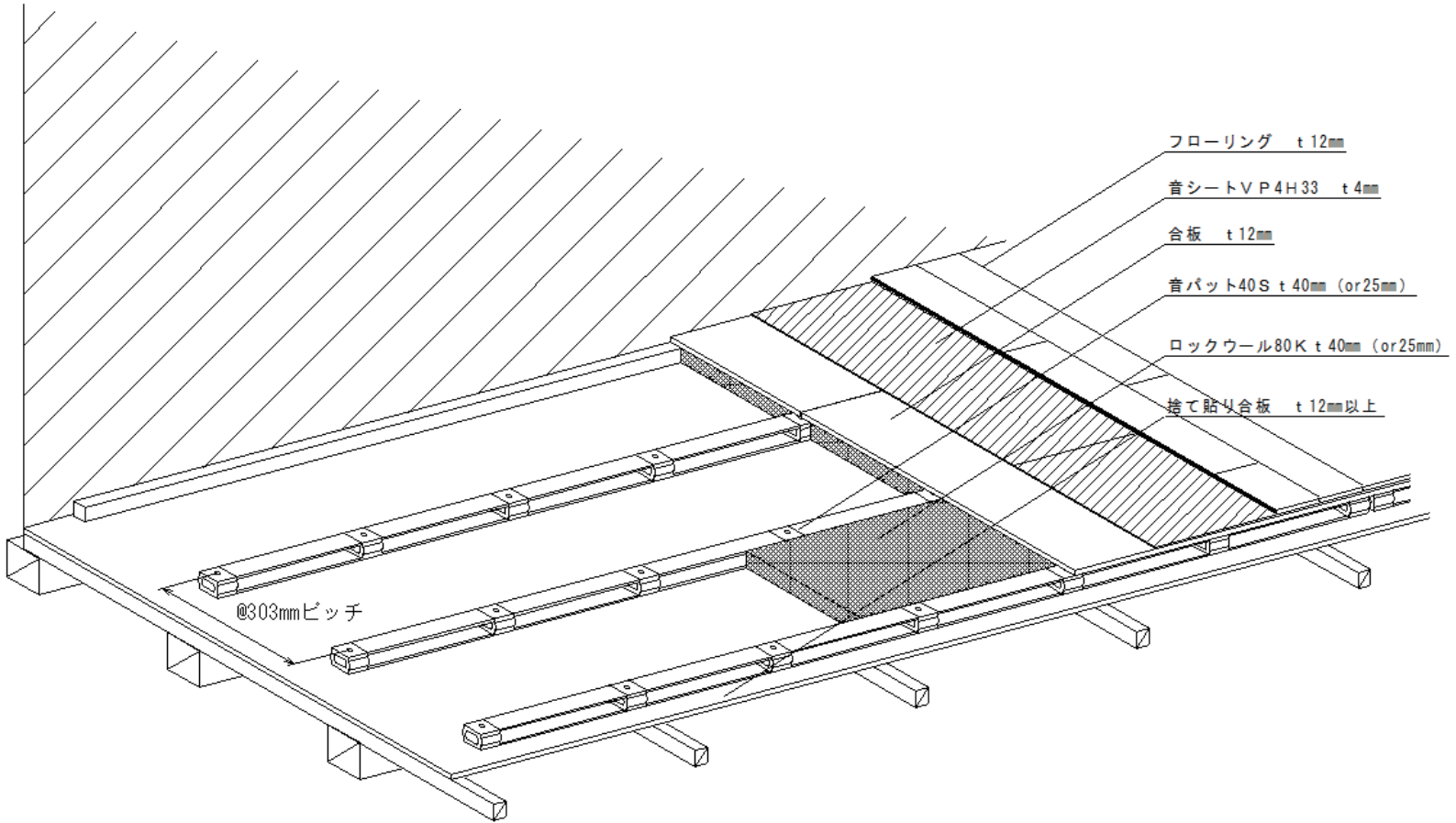
下地のレベル調整は、音パットの下にカットベニアなどを敷き込み調整してください。

## 音パット施工時の注意点

- 音パット・捨て貼り・仕上げフローアは確実に壁より離して施工してください。
- 捨て貼り合板と合板の接合部は確実に離して固定してください。踏み鳴りの原因となります。
- 音パットはフレームが薄い金属製です、必ず軍手をご使用ください。手を切る可能性があり素手では危険です。
- 音パットのフレーム部に乗ったり、重量物を載せたりしないでください。
- 捨て貼りを施工後に重量物を落としたり、投げたり、一箇所に集中して仮置きをしないでください。音パット支持フレームが破損する恐れがあります。
- 木製巾木をご使用の際は、クッション付き巾木をお選びください。

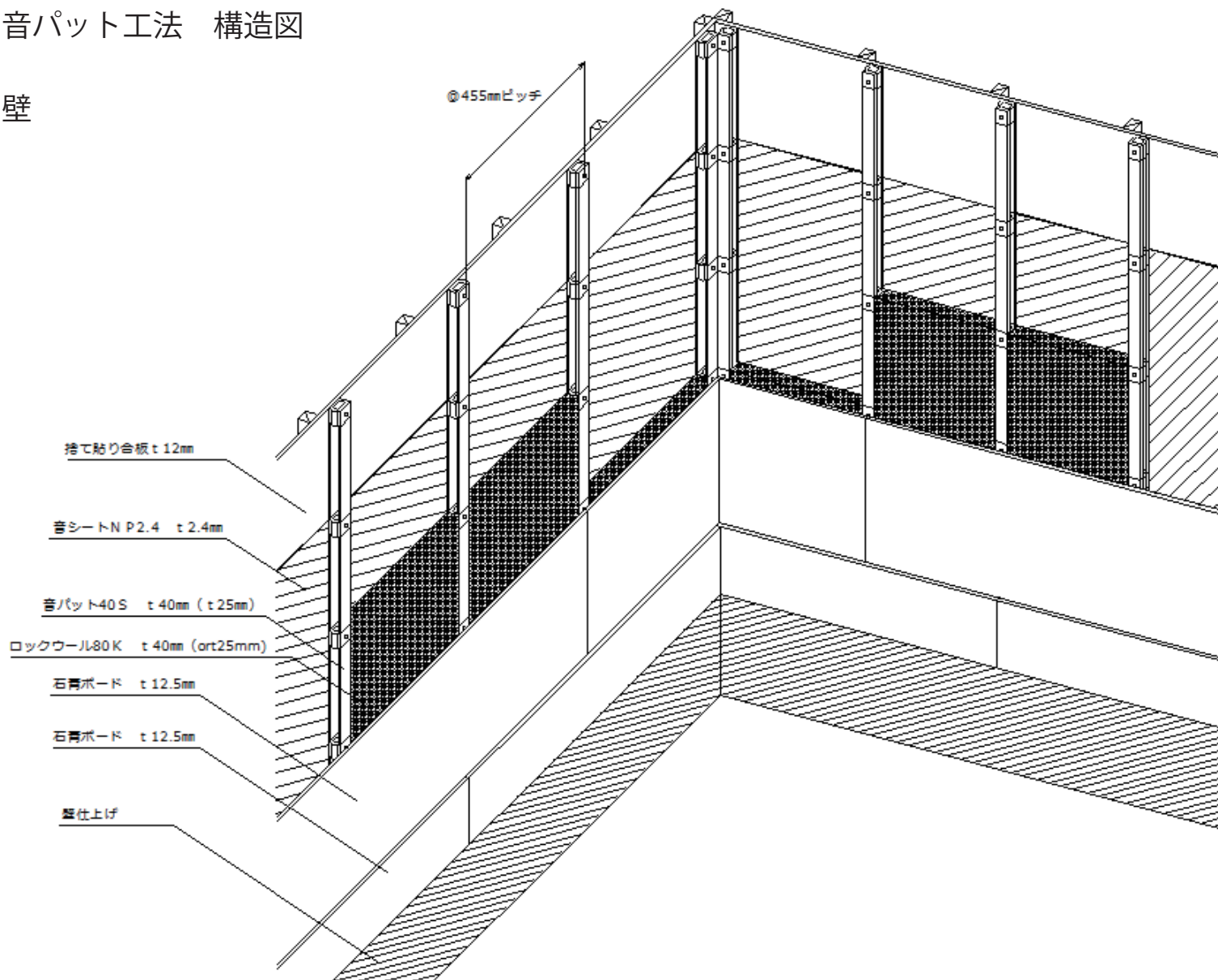
# 音パット工法 構造図

## 床



# 音パット工法 構造図

壁



# 音パット工法 構造図

## 天井

